

平成23年度

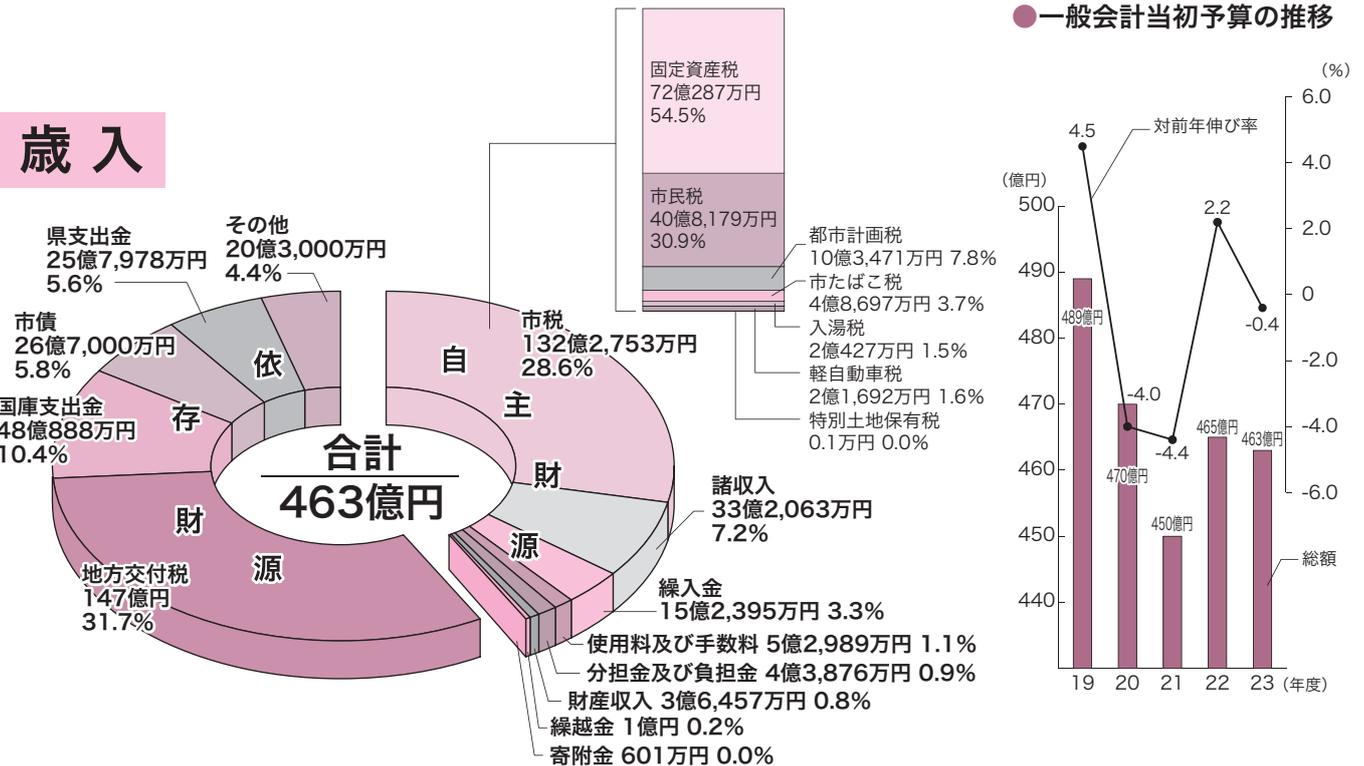
予算

幸せ感あふれる 自立したまちづくり

各種施策を積極的に組み込んだ予算編成に

市では、3月1日から開会する高山市議会定例会に一般会計463億円、特別会計・企業会計279億円の平成23年度予算案を提案します。

國島市長となって最初の年間予算では、活力があり、住みやすく、自立した高山市をつくるため、地域経済の活性化と市民生活の向上を目指して、市民のみなさんが安心して暮らせるために各種施策を積極的に組み込み、バランスに配慮した編成としました。



**新しい高山を創る
スタートの年に**

『新しい高山を創る』スタートの年となる平成23年度予算は、社会経済情勢の変化に対応したメリハリのある予算編成としました。特に、政策の柱に海外戦略を位置づけるとともに、子育て・教育環境の整備、危機管理体制の強化、保健予防や安心できる医療体制の整備、環境対策、文化振興、地域振興などを重点に予算を充実しました。

**重点施策には積極配分
市債の発行は抑制**

23年度一般会計予算は463億円で、前年度に比べて2億円、0.4%の減となりました。

歳入では、市税が前年度に比べて0.9%の増収見込みとなっており、地方交付税についても特別枠の継続により前年を上回る2.8%の増額となっています。

一方歳出では、国府支所建設や総合交流センターの事業費減少などにより総務費で9.0%、土木費で11.6%の減額となりましたが、教育費については学校改築事業や岐阜国体の開催などにより18.6%の増額となりました。

また、財源不足に対応するため、財政調整基金から繰り入れして歳入を確保する一